

まちづくり推進会議、委員会議のまとめ

日 時：平成24年3月26日（月） 9：30～11：45

場 所：東分庁舎2階第2会議室

出席者：小笠原、押味、斉藤（雅）、新保、佐藤、太田、木立、脇、高橋、清田、谷村、小川、熊谷、平本、磯川

欠席者：斉藤（正）、田沼

事務局：田代町民環境部長、樋口町民課長、亀井主査、熊倉主事

【会議の内容】

（公募について）

番号	質問項目	町の考え方（回答）
1	事務局で公募委員の募集はどのような努力をしたのか。また、残りの公募について、今後どうするのか。	平成23年1月、4月、8月に公募委員を募集した。今後、5月に募集を行い、6月中旬に選考予定。

（今後の会議について）

2	今後のまちづくり推進会議のスケジュールについて教えて欲しい。会議を何回開催するのか。どのように進めていくのか。	予算上では、3回分取っている。委員さんがそれ以上会議を開きたいというのであれば、できる限り対応する。会長が決まるまでは、事務局で進行していく。
3	3回会議を行うことは前提にして、あるテーマならテーマについて意見をもらうとか工夫すればいい。	—
4	高齢者がいきがいをもつような企画、システムが必要。女性は友人を作るのがうまいが、男性は閉じこもりがちだと思う。お年寄りが元気でやっていけるような、具体的な何かをやっていかなくてはならない。	—
5	自治基本条例第30条には、この条例の推進に関することとある。解説がわかりにくいということなら、変えたらどうか。	—
6	①提言書にそって、この4つに対して審議していくのか。②それ以外をやっていくのか。町は高齢者対策をやっているが、町民も積極的ではない。格差がある。1コ1コ積み上げが大事。協働って何なのか、ということ町民が考える。	基本的には提言書を引き継いで議論していただきたい。その中でも、例えば住民投票条例については今回は議論しないとか、委員さんの中で決めていただいたり、それ以外でも子育て、高齢者の議論をしたいのであればそのように進めていただければと思う。
7	委員の皆さんの宿題として、①茅ヶ崎市のサポートセンターを見に行く②協働のまちづくりが進んでいない原因を考える③情報提供する場、どのように把握しているのか。	—
8	委員の皆さんが、ご自分でどういう方向性にしていきたいか（①提言書をかためていきたいのか②新たなことをやっていくのか）、次回の会議に考えてきて欲しい。提言書を出したメンバーとは違う目線で見れるのがいい。	—
9	以前、幹事会をやっていた。会議以外での進め方を事務局で工夫してやっていただきたい。	次回は6月末か7月の会議になるが、次回は出された提言書に対しての回答・考え方を出していきたい。
10	今後について、会議の資料は見えていないと話が進まない。そのためには、事務局も早めに資料を送って欲しい。	資料については、事前に送付する。

(町への確認事項)

11	自治基本条例第5条のまちづくりの指針について、よくわからない。抽象的すぎる。また、「協働」について、図か何かでガイドラインを示した方がいい。転入者には、チラシを渡したらどうか。	—
12	提言書を出したと思うが、町からこの会議への回答がない。町としてはどのように対応しているのか。きちんと町長へ伝えて、職員への周知を徹底して欲しい。パブコメの反響があったなど、成果がないと・・・。	まだ対応できていない。平成24年度は、職員への周知を行っていきたい。
13	パブコメ意見0件というのは……。議会に事前説明しているよね。その意見について、議会からはこういう意見が出ていますと出して出した方がいいのでは。	—
14	策定委員会で今まで議論した。自治基本条例第23条には、コミュニティセンターを作るということを条例の中に入れる話が出たが、最終的には入れなかった。	コミュニティセンターの機能は必要だと思っている。ただ、建物を新しく作るというのは難しいが、皆さんが集まれるような場・機能を作る。いつまでにどれくらいの機能を持った施設というのは、まだわからないが……。
15	寒川の学力の低下が問題。茅ヶ崎市のコミュニティセンターだったり、子どもと一緒に学べる環境が必要。ゲームで中に閉じこもる子どもが増えてきた。「時間」「場所(空間)」「人」が大切。うちの子どもは将棋をやりたいけど、土曜しか空いていないからいけない。外で遊んだとしても、今の遊びはゲームやカード遊びになっている。	
16	自治基本条例前文に「個性的で魅力的な寒川」とあるが、寒川の個性について、今までどういう議論をされてきたのか。	—